

## 総務消防委員会 意見交換会実施状況

1. 日 時 令和6年11月16日 午前10時～午前11時50分
2. 開催場所 坂出市役所 本庁舎4階 委員会室
3. 出席議員 前川委員長、山下副委員長、小笠原委員、若杉委員、茨委員、楠井委員
4. 対象団体 中央地区連合自主防災会

### 5. 実施内容

前川委員長、阿河中央地区連合自治会長それぞれの挨拶、両者により出席者の紹介が行われた後、竹田中央地区連合自主防災会長より当該自主防災会について紹介いただいた。

中央地区では、令和元年全自治会の自主防災会組織編成に着手し、36自治会（1,200世帯）を13単位自主防災会に編成された中央地区連合自主防災会を結成した。自主防災会では、防災意識の啓蒙を図るための新聞発行、避難訓練・防災訓練等を適宜実施するとともに、令和2年からは香川大学創造工学部と連携し、毎年ワークショップを継続して行っている。また、今年度は避難所運営マニュアルの作成に取り組み、中央体育館のアクションカード作成を行っていること等の紹介がなされ、その後、意見交換に移った。

意見交換は自由討議の形態で進行し、主に下記の意見が出された。

①中央地区は津波浸水想定区域であり、地震発生から津波が来るまで2時間程度の時間はあると想定されているが、夜間発生など時間の問題や高齢者や障がい者など災害弱者にとって、坂出商業高等学校などの指定緊急避難場所へ移動するのは困難であり、津波浸水想定区域内で垂直避難ができるよう津波避難ビルの指定に向けて鋭意取り組んでほしい。

②①と関連して、津波避難ビルの指定とともに、坂出ふれあい会館や坂出小学校などの鍵を自主防災会にも預けたり、大災害の際には、自動で扉が開閉するような整備を行うなど、一刻も早く垂直避難をするための整備を考えてもらいたい。

③避難行動要支援者の個別避難計画の作成は喫緊の課題であり、全地区で全ての個別計画の作成が早急に完了できるよう市として積極的に取り組んでいただきたい。

④自治会単位での団体の避難は困難を伴う。日頃から災害に備えた訓練が必要であり、その支援を求める。

最後に、山下副委員長より、地元である府中町においても、過去には水害の被害に遭い、その際に自助共助及び公助の大切さを改めて感じた。各地域の自主防災組織には温度差があるが、自主防災組織の強化等、いただいた意見を今後の議会活動に生かして鋭意取り組んでいきたいとの挨拶があり、意見交換会を閉会した。